

●全国学力学習状況調査(中3)

課題の見られた問題の概要	結果
複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書く	29%
語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	44%

●児童・生徒の学力向上を図るための調査(中2)

課題の見られた問題の概要	結果
「話し方や伝え方の工夫を捉えることができるか」をみる問題	38.8%
「読み取った情報を元に、理解・解釈・推論し、文章の中心となる内容について考えをまとめることができるか」をみる問題	49.5%

●調査結果を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
学力調査では問題をよく理解して解答している。3年は語句の意味を問う問題1題以外は都・全国の平均を上回っていた。2年も同様。	授業や宿題で漢字テスト・意味調べを実施しているが、語句を十分に使いこなしていない。まだまだ練習が必要である。文脈を読み取り、何をどう答えるかという点では授業を通じて丁寧に指導していく。

●本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
どの学年も真面目な態度で授業に取り組んでいる生徒が多い。個人差はあるが、授業の課題にしっかり取り組んで力を伸ばしている。	授業の課題に真面目に取り組み、力を伸ばしている生徒が多いが、基礎学力が定着していない生徒も見られ、時間をかけた指導が必要である。

●学年ごとの課題及び改善策等

学年	生徒の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	思考や活動をしやすい落ち着いた環境を自ら作り出すことのできる基本的な姿勢を持っている。聞き取りテストで明確になったのは比較しながら・抽象化をしながら・詳細を聞きとることが苦手である。また、主語・述語のねじれのある文を書く生徒が少なくない。	メモが記入できるような本文プリントを用意する。またメモの箇所が明確になるような括弧や記号を多用する。漠然と聞くことがないようなノート(プリント)の工夫をする。同時にアンダーラインの種類などに細かな指示を出す機会を増やす。短文で有ればねじれを明確にしやすいため長い文章を書くよりは短文を数多く書くようにする。
2年生	・話の内容に集中するあまり、話し方にまで注意が及んでいない。 ・前後の心情の把握に課題がある。	・効果的に伝わる話し方を学習させる。 ・心の微妙な「揺らぎ」に注目させて、場面をまとめる課題を設定する。
3年生	・授業や課題に真面目に取り組んでいる。 ・心情の把握・筆者の主張等内容は理解しているが、十分に言葉に表現できないので、練習が必要である。	・書く力を伸ばしていくため、2学期は短作文を書く演習を実施していく。 ・教材ごとに3年間の学習のまとめをする時間を作り、学習内容を確認していく。

●学校全体で取り組む内容

<ul style="list-style-type: none"> ・漢字を読む力、書く力をつける。 ・国語の学習を通じて語彙力を伸ばす。 ・文章の内容を読み取る力を育てる。 ・自分の考えを相手に伝える力(話す、書く)、また話し手の意図を聞き取る力をつける。
--